

日野植物研究グループ(東京都)

日野の水辺—多摩川・浅川・用水路の植物相



助成区分	植樹	環境保全	調査・研究	教育・啓蒙
実施状況	参加者 満足度90%	活動の全体目標に対する達成度	90%	

活動目的

水の郷100選に指定された日野市には多摩川・浅川が流れ、総延長100km超の用水路がある。水辺の多様な生き物、豊かな水辺環境を次世代に残していくために、それらの基礎となる植物相を調査し、現状を分析、考察する。

活動内容

- * 植物調査：市内における多摩川と浅川の流水辺、河川敷から堤防に生育する全ての維管束植物種、用水路の水草全種名を記録、分類し一覧表を作成する(調査日数77日、常時8名弱)。
- * 報告書作成：調査方法、結果、考察、全出現種、写真などをP103にまとめ、各機関に配布
- * 観察会実施：多摩川・浅川合流地点の堤防および河川敷での植物解説と特定外来生物シナダレスズメガヤはじめ外来種の侵出状況



成果

- * 多様な河原の植物：多摩川596種、浅川405種、用水路の水草33種を確認。日野の水辺では672種 ⇒ 日野市全体の約2分の1 (イネ科、キク科、マメ科、カヤツリグサ科が多い。樹林化)
- * 外来種は35%以上：外来種181種に植栽種、逸出種の外来種含めると245種、特定外来4種
- * 絶滅危惧種36種：新発見(ヒメシオン)、再確認(キバナカワラマツバ)、水草10種
- * 礫河原特有の植物激減(カワラサイコ、カワラナデシコ、カワラヨモギなどの占める面積減少) ⇒ 堤防斜面 ←クズ、シナダレスズメガヤ蔓延、ハリエンジュ林、ニワウルシ林、ヌルデの低木群落
- * 日野市の用水路は在来水草の宝庫：15科33種。市内約10kmに及ぶ用水路に11種の絶滅危惧種 (総延長約10km) (オオアカウキクサ、セキショウモ、ササバモ、ヒルムシロなど)



工夫した点

- * 用水路の水草調査への取り組み：水草に詳しいメンバーが入ることにより大きな成果。
- * 観察会の開催：調査によって得られた知見を説明し、市民の河川生態系への関心を深めた。(2019.5.12 市内外から35名が参加。次回の企画を望む声多数)



今後の課題

- * 外来種駆除
 - ・特定外来生物オオカワヂシャが多摩川と浅川の水辺で蔓延し、在来種カワヂシャが激減
 - ・要注意外来生物シナダレスズメガヤの駆除

